

## 概要報告書

団体名	公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
事業名	全国少年警察学生ボランティア研修会

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会はさる9月7日、福岡市の博多サンヒルズホテルにおいて近畿地方から九州地方の少年警察学生ボランティアを集めた研修会を開催した。今回の研修会には、学生ボランティア79人をはじめ、大学教員、県警職員など126人が参加し、各府県で行っている活動について意見交換や情報共有を図った。研修会では、福岡県警察本部少年課の大月祥子氏が「少年の立ち直りを信じて」と題して講演を行った。

また、実際の大学生ボランティア6人をパネリストにしたパネルディスカッションも実施した。関西大学大学院・梶谷健二教授をコーディネーターに、京都、鳥取、岡山、香川、福岡、鹿児島県を代表する大学生ボランティアが壇上で「大学生として、今、何ができるか」をテーマに、意見を発表した。

参加した県から、「各県の取組み、運用等について大変参考になった」との意見が寄せられ、また、参加学生からも「普通では経験できない多くの経験をし、自分達の成長につながった」などと有意義な研修であったとの反応が当協会に寄せられている。今後も継続して実施して頂きたいという要望が強い。

本事業は、高齢化の進む少年警察ボランティアの後継者として人材の多様化を目指し、裾野拡大施策の一つとして開催した。



注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。財団法人社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。